

事 項	SU(スルフォニルウレア)系水稲除草剤抵抗性雑草の発生確認と除草体系		
ね ら い	<p>水稲用一発処理除草剤の主成分であるSU系化合物に対して、抵抗性を有する雑草の事例が全国で報告されている。</p> <p>最近、本県においても、一発処理除草剤の連用水田でアゼナ類、ホタルイ類が特異的に残草する事例が見られ始めた。</p> <p>今回、県内主要地点からアゼナ類とホタルイ類を採取しSU抵抗性を検定した結果、ほとんどのサンプルがSU抵抗性雑草であることを確認したので、その効率的な除草体系を普及に移す。</p>		
指 導 奨 励 内 容	<p>1 SU抵抗性雑草の除草体系</p> <p>アゼナ類及びホタルイ類が特異的に残草する場合は、SU抵抗性の雑草と判断されるので、以下の除草剤を使用した防除体系を行う。</p> <p>(1) アゼナ類に有効な成分と除草体系</p> <p>ア 一発処理剤の体系</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       プレチラクロール、ピフェノックス、ペントキサゾン、ベンゾフェナップ、クロメプロップのいずれかを含む一発処理剤     </div> <p>イ 初期剤の体系</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">         プレチラクロール、ピフェノックス、ペントキサゾン、ベンゾフェナップのいずれかを含む初期剤       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">         クロメプロップ、ピフェノックス、プレチラクロール、ベンゾフェナップ、ペントキサゾンのいずれかを含む一発処理剤       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">         MCPB、ベンタゾンのいずれかを含む中期剤       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px; text-align: center;">         ベンタゾンを 含む中後期剤       </div> </div> <p style="margin-left: 150px;">(残草した場合)</p> <p>(2) ホタルイ類に有効な成分と除草体系</p> <p>ア 一発処理剤の体系</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       プロモブチド、クロメプロップ、ピラゾレート+プレチラクロール混合剤のいずれかを含む一発処理剤     </div> <p>イ 初期剤の体系</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">         プロモブチドを含む初期剤       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">         プロモブチド、クロメプロップ、ピラゾレート+プレチラクロール混合剤のいずれかを含む一発処理剤       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">         MCPB、ベンタゾンのいずれかを含む中期剤       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px; text-align: center;">         ベンタゾンを 含む中後期剤       </div> </div> <p style="margin-left: 150px;">(残草した場合)</p> <p>2 SU抵抗性の検定結果</p> <p>(1) アゼナ類 県内18市町村から39標本を検定した結果、38標本にSU抵抗性を確認した。</p> <p>(2) ホタルイ類 県内5市町村から5標本を検定した結果、4標本にSU抵抗性を確認した。</p>		
期待される効果	SU抵抗性雑草のアゼナ類、ホタルイ類が効果的に防除できる。		
普及上の注意事項	<p>1 初期剤、一発処理剤の使用は、アゼナ類やホタルイ類の発生前が効果的である。</p> <p>2 多年生雑草防除雑草(シズイ、クログワイ等)と混生する場合は、除草体系に示した一発処理剤の体系で行う。</p> <p>3 除草剤の使用に当たって、各成分の使用回数制限を厳守する。</p>		
担 当	青森県農業試験場 栽培部	対 象 地 域	県内 全域
発 表 文 献 等	平成13年度 青森県農業試験場成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 SU抵抗性アゼナ類・ホタルイ類に対する有効成分と除草効果並びに使用回数

有効成分	アゼナ類	ホタルイ類	使用回数制限
カフェンストロール	○	—	1回
クロメプロップ	◎	◎	2回
シメトリン+MCPB	◎	◎	ともに2回
ダイムロン	—	○*	2回
テニルクロール	○	—	2回
ナプロアニリド	○	—	1回
ピフェノックス	○+	—	2回
ピリプチカルブ	○	—	2回
プレチラクロール	○+	○**	2回
ピラゾレート+プレチラクロール混合剤	○	◎	1回 (ピラゾレート)
ブロモブチド	—	◎	1回
ベンゾフェナップ	○+	—	1回
ベンタゾン	◎	◎	2回
ベンチオカーブ	○	—	1回
ペントキサゾン	○+	—	2回

(注) 1 有効成分の除草効果の判定は、東北農業研究センターのデータを引用

2 除草効果

◎ : アゼナ類・ホタルイ類に比較的效果が安定して高い成分

○ : アゼナ類に発生前～極初期の処理で有効、発生後は効果不十分、残効性が劣り中期剤や後期剤の有効剤との体系処理が必要(○+は比較的效果が安定している成分)

○\* : ホタルイ類に有効だが、含有量が低く、効果は不十分

○\*\* : ホタルイ類に有効だが、発生深度が深い個体や、多発田では効果不足となりやすい

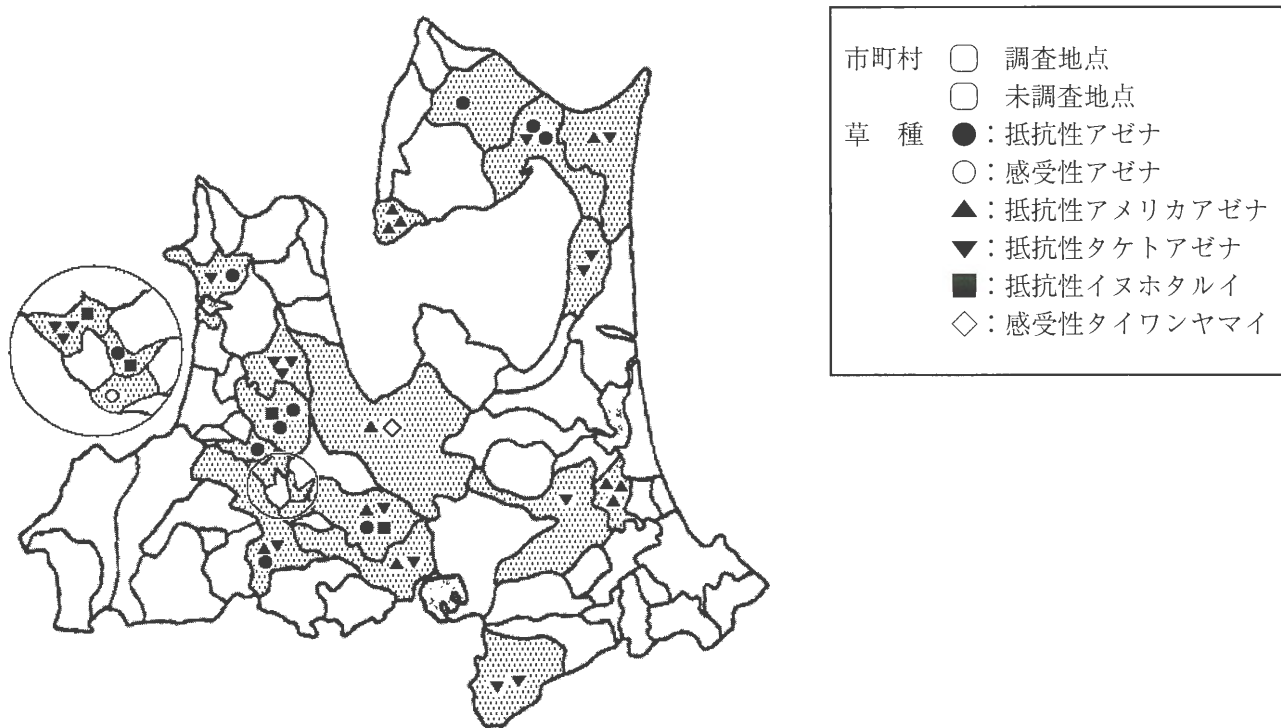


図1 SU抵抗性雑草が確認された市町村と草種 (平成13年 青森農試)

(注) SU抵抗性の検定は、内野ら(東北農業研究センター)の迅速検定法により実施